



あわてないで!ワンコの不調の対処法

**時** 5月16日(土) 10時~11時30分  
**場** 市民交流センター(クラシティ3階)  
**講** るい動物病院 院長 山口真紀子氏 **料** 500円  
**因** かゆみ、痛み、下痢、誤飲、誤食などの症状をどう見極めるか。家庭でのケア方法と急ぐべきケースの判断ポイントをお伝えします。  
**申問** いぬ友わんピース(榊原)  
**☎**090-1238-1441(ショートメールも可)

BLS&AED講習会

心臓や呼吸の機能を回復させる手当ての方法(BLS)や自動体外式除細動器(AED)の使い方を学びます。  
**時** 7月11日(土) 14時~16時  
**場** 半田市医師会館(雁宿町1-54-8)  
**定** 25名(どなたでもお子さま連れでも) **料** 無料  
 ※動きやすい服装でご参加ください  
**申問** 6月20日(土)までに電話で半田市医師会事務局へ  
**☎**21-3411

国際ボランティア・ポレポレの2026年度 語学講座が始まります

①**スペイン語を学ぶ会(入門~初級)**  
**時** 5月7日(木)から毎週木曜日 19時~20時30分  
**場** 瀧上工業雁宿ホール2階 集会室  
**料** 3,000円/1年間(約40回分)+テキスト代 ※駐車料金、部屋使用料等無料  
 ②**ブラジル・ポルトガル語を学ぶ会(入門~初級)**  
**時** 5月8日(金)から毎週金曜日 19時~20時30分  
**場** 瀧上工業雁宿ホール2階 集会室  
**料** 3,000円/1年間(約40回分)+テキスト代 ※駐車料金、部屋使用料等無料  
**申問** 電話で国際ボランティアクラブ ポレポレ(山本) **☎**22-7731

ファミリーコンサート開催します♪

マーチングバンド、バトントワーリングによるステージショーを開催。迫力の演技をぜひご覧ください♪  
**時** 5月16日(土) 18時  
 5月17日(日) 12時  
 5月17日(日) 15時  
**場** 瀧上工業雁宿ホール 大ホール  
**料** 無料  
**申問** 愛町Jrマーチングバンドファミリーコンサート実行委員会 事務局(伊藤)  
**☎**090-5854-6558



第3回 まんマルシェを開催します

障がい福祉施設等で生産した、たくさんの製品を販売するマルシェを開催します。  
 ぜひ、お気軽に足をお運びください。  
**時** 5月30日(土) 11時~15時  
**場** 半田市パワードーム1階 センターコート  
**因** お菓子や衣類等の販売、ワークショップ等  
**申問** 特定非営利活動法人まんまる **☎**24-3070

災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します

**時** 6月28日(日) 9時30分~15時30分 (受付開始 9時)  
**場** 半田市役所4階 大会議室  
**因** 中学生以上 **料** 無料  
**因** 災害ボランティアセンターの活動を通して、防災・減災を考えます。昼食は非常食を作り食べます。  
**申問** 電話またはFAXで半田市社会福祉協議会 総務グループ  
**☎**84-2324 FAX32-3435  
**✉**handa-syakyo@giga.ocn.ne.jp

ごん吉くんレポート  
 ~南吉よもやま話~

第83回

『南吉』だけじゃなかった、ペンネームあれこれ

「新美南吉」は彼自身が考え出したペンネーム(筆名)です。それは知ってるけど由来までは知らないという方が多いかもしれません。では、彼が「南吉」よりも前に使っていた筆名があったことはどうでしょうか。

南吉が筆名を使い始めたのは中学3年生頃だと考えられています。本格的に創作活動を始めてから1年程が経ち、彼が中央、地方にこだわらず投稿した雑誌の中には入選して作品を掲載してくれるものも出てきました。現在分かっている最初の筆名が「新美彌那鬼(名前の読みは“みなぎ”か“やなき”か不明)」でその次が「新美南吉」です。いずれも由来には諸説ありますが、初恋の女性、木本咸子(きもとみなこ)の名前を元にしていないとも言われています。その後も、同人誌で仲間の人物評を書くことになったとき、師匠や先輩の言葉に背いて雑誌に作品を投稿したとき、作家としての進路に悩みながら小説の試作を繰り返していたときなど、折々に筆名を編み出して使っており、彼の心情や事情が伺えるものもあります。

現在、新美南吉記念館では、南吉が生涯に使っていた筆名とそれにまつわるエピソードをご紹介します企画展『「南吉」だけじゃなかった、ペンネームあれこれ』(~7月5日)を開催しています。ぜひご来館ください。



▲小説『盆地の伴太郎』の原稿 第一葉 ペンネームの推敲跡が残っている。